

海老名市立社家小学校 学校運営協議会 議事録
(令和6年度 第2回)

- 1 日 時 令和6年10月11日(金) 13:30~15:00
- 2 場 所 海老名市立社家小学校 家庭科室
- 3 出席委員 津々木美幸委員長、佐々木宏文委員、春日井美穂委員、米山恵委員、朽木正美委員、中鉢裕季委員、浅井大輔校長、尾崎由美教頭、大部信介教務

4 会議の内容

(1) 挨拶

津々木会長：お集まりいただき感謝申し上げます。今年度の運動会も無事に終わってよかったです。今年度の残りの行事、まずは「ふれあい教室」の準備をしっかりと進めていきたい。ご協力をお願いしたい。

浅井校長：運動会は応援団の方、PTAの方にたくさんご協力いただき感謝申し上げます。奇跡的に天気も回復し、実施できて本当に良かった。プログラムも入れ替える中、子たち、特に係の高学年が臨機応変に動いてくれ、本当にありがたかった。子どもたちが大きく成長できたいい運動会となった。これからもご協力をよろしくお願いしたい。

(2) 現在の教育活動について

浅井校長：子供たちは元気に過ごせている。休み明けは心配されるが、大きく変化し、大変な状況とはなっていない。熱中症が心配されていて、運動会の練習もできないことが多かった。とても心配していたが、何とか開催できた。まだまだ安心はできないが、これからも気を付けながら教育活動を進めていきたい。そういったことも踏まえて、来年度の年間行事計画を立てていきたい。大きく見直す行事等もあると思うがご協力をお願いしたい。2学期後半も、子供たち一人ひとりを大切にしていきたい。

(3) 学校評価について

浅井校長：例年通り今年度も実施していきたい。委員の皆様にもご協力をお願いしたい。今年度は、保護者は一人一台端末を活用して回答してもらうことを予定している。委員の皆様はいつも通りの方法で実施をしていただく。

(4) ふれあい教室について

大部：現在、応援団の協力をいただき、計画を進めているところである。講師の紹介等、感謝申し上げる。開催講座を踏まえ、希望を取り、人数を調整している段階である。PTAの役員の皆様にも昨年度同様ボランティアという形で参加していただきたい。また、今年度は体育館改修工事の予定もあり、半日開催としている。昨年度と違う形だが、子供たちにとって充実したものとしていきたい。

(5) キャリア教育について

教頭：海老名市は特色ある学校事業ということで市内各校実施している。社家小は校内研究、インクルーシブ教育、キャリア教育という3本を柱として行っている。

昨年度同様、今年度もご協力をお願いしたい。昨年度は6年生だけだったが、今年度は対象を広げ、3年生・6年生で行いたい。

3年生段階では、様々な職業があることや働き手の思いを知ることがをめあてとし、6年生は自分の将来や職業について考えるきっかけとなることをめあてとして設定している。昨年度は消防士と薬剤師に20分程度ずつお話をしてもらったり、質問をさせてもらったりした。

今年度はすでに、3年生と6年生にアンケートを実施した。それを参考にしていただき、皆様から講師のご紹介をお願いしたい。実施は昨年度同様3月を予定している。

また、8名分の講師の予算はとっている。今年度は学年に合わせて話をしてもらえるとありがたい。

アンケート結果をもとに職業でお知り合いの方がいればご紹介いただきたい。

委員から：消防士・獣医師・自衛官・警察官などは紹介ができる。検討を。

中鉢委員：いつまでに探せばよいか。

尾崎教頭：まだ時間はある。11月頃を目途に。

中鉢委員：スポーツ選手などは地域にもサッカーチームやバスケットのチームがあり、そういった活動をしている団体もあるので、可能性があるかもしれない。近隣で活動するYouTuberにネットで呼びかけてみるのもいいかもしれない。

委員から：パティシエ・調理学校・美容師・幼稚園教諭等も紹介できる。

尾崎教頭：ぜひ今後検討・協力をお願いしたい。

(6) 情報交換

○有馬中学校区の子どもたちの様子及び今年度の運動会について

津々木会長：今年度は暑すぎて近くの公園でも遊ぶ姿が見られなかった。時代的に子ども会もないので、子どもたちの声が聞こえず、寂しい夏だった。ようやく暑さが落ちついてきたので、また元気な声が聞こえてくるとうれしい。

運動会について、個人的な意見であるが、コロナ前のような1日開催の運動会もぜひ検討してほしい。そういう行事だからこそ見られる児童の姿、家庭の様子もあると思う。

春日井委員：先ほどもあった通り、運動会でプログラムがどんどん変わって心配したが、低学年の子もしっかりと動けており、成長が見られた。高学年の係の子たちもすごく頑張った。

中学1年生や卒業生の子たちも、たくさん来てくれた。兄弟がいなくても見に来たり、先生に会いに来たりしている子が多く、社家小への愛校心が育っていると感じた。

米山委員：登校中の児童の姿を見るが、高学年の児童が低学年の児童が困っていると手を差し伸べる児童が多く、とてもうれしい。

運動会は、幸い門沢橋小の方も観覧することができた。どちらも特長が出ていて素晴らしい運動会だった。社家小は社家小らしく、あたたかくほのぼのしていてとてもよかった。

吉田委員：PTAと保護者の立場から。判断の難しさと先生方の気苦労を改めて強く感じた。待っている間の保護者は殺伐とした雰囲気は無く、穏やかに待っていた。とてもいい地域性であると感じた。

登下校について。危険個所が多々あり、心配だが、子どもたちは安全に気を付けて登下校している。これからも安全に登下校できるように声かけが必要だと感じている。

中鉢委員：放課後の過ごし方について。学校の放課後の遊び方・自転車の乗り方や行動範囲の取り決めがあることはありがたいが、学校の指導をそこまで求められてしまうと、先生方も大変では。現在の子どもの放課後の遊び方も、幅がなく限られてきてしまっていると感じる。

次回の、学校運営協議会は、令和7年2月14日（金）13:30から開催予定。